

平成27年第13回大田原市教育委員会定例会

平成27年12月17日(木)

午後1時30分

湯津上庁舎 102会議室

1 開 会

2 前回会議録の承認

3 議 事

日程第1 協議第17号 大田原市教育委員会事務局組織等に関する規則の一部を改正する教育委員会規則の制定について

日程第2 報告第11号 教育財産の一部用途廃止及び引き継ぎについて

4 その他

5 閉 会

平成27年第13回大田原市教育委員会定例会発言要旨

開会：午後1時30分

○教育長（植竹福二君） ただいまから平成27年第13回大田原市教育委員会定例会の会議を開きます。

○教育長（植竹福二君） 前回会議録は、書記をもって調製させましたので、順次回覧いたします。内容をご確認いただきたいと思います。

（会議録順次回覧）

○教育長（植竹福二君） 会議録の内容についてご確認いただきましたが、前回会議録につきましてご承認いただけますか。

（異議なしの声あり）

○教育長（植竹福二君） 異議はないようでありますので、前回の会議録は承認されました。
委員会閉会后、ただいまの会議録に署名をお願いいたします。

○教育長（植竹福二君） 本日付議されました案件は、協議1件、報告1件の合計2件であります。
それでは日程に従い会議に入ります。
日程第1 協議第17号 大田原市教育委員会事務局組織等に関する規則の一部を改正する教育委員会規則の制定についてを議題といたします。

詳細について、教育総務課長から説明をお願いします。

○教育総務課長（益子正幸君） （説明を行う）

○教育長（植竹福二君） 説明が終わりましたので、質疑を行います。

○委員（日原悠子君） どうしてハーモニーホールだけ今回追加となったのでしょうか。

○文化振興課長（渡邊小百合君） これまでもハーモニーホールの管理運営は行っておりましたが、所管の施設として事務分掌に漏れていたため今回修正するものであります。

○教育長（植竹福二君） ほかに質疑はないようでありますので、質疑を終わります。
お諮りいたします。
協議第17号 大田原市教育委員会事務局組織等に関する規則の一部を改正する教育委員会規則の制定につきましては、原案のとおり承認することにご異議ございませんか。

（異議なしの声あり）

○教育長（植竹福二君） ご異議なしと認めます。よって本案は原案のとおり承認されました。
次に、日程第2 報告第11号 教育財産の一部用途廃止及び引き継ぎについてを議題といたします。

詳細について、教育総務課長から説明をお願いします。

○教育総務課長（益子正幸君） （説明を行う）

○教育長（植竹福二君） 説明が終わりましたので、質疑を行います。

（質疑を行う）

○教育長（植竹福二君） 質疑はないようでありますので、質疑を終わります。
お諮りいたします。
報告第11号 教育財産の一部用途廃止及び引き継ぎにつきましては、原案のとおり承認することにご異議ございませんか。

（異議なしの声あり）

○教育長（植竹福二君） ご異議なしと認めます。よって本案は原案のとおり承認されました。

○教育長（植竹福二君） 以上をもちまして、本日予定されました案件はすべて議了いたしました。
なお、その他で何かございますか。

○生涯学習課長（飯島敬子君） 放課後子ども教室について報告いたします。平成21年度から羽田、奥沢、金丸小学校の空き教室を利用して放課後の児童の居場所作り、学童保育を行っており、3校で現在42名ほどおります。本来の目的は、放課後の時間を利用して、子供たちがスポーツや地域の方々とふれあう社会教育事業であります。

○生涯学習課長（飯島敬子君）

対しまして学童保育は、児童福祉法に基づく社会福祉事業であり、文部科学省や厚生労働省所管の事業であります。

子ども・子育て支援事業計画では、平成28年度に羽田・奥沢地区に公設民営の学童保育館の設置を検討するとなっており、事業者はあいのか福祉会が旧かねだ保育園を改装して実施する予定であると聞いており、放課後子ども教室については、学童保育館開設に伴い3校の教室を廃止し、本来の趣旨である地域との連携を深める事業にシフトしていく考えでありました。

ところが、今年9月に旧かねだ保育園を改修する補助金が県から交付されることになり、平成28年3月までに改修を行い、4月からの事業開始が急遽決定しました。

そこで、生涯学習課と子ども幸福課による3校の保護者を対象に学童保育館の説明会を実施したところ、半年前の通告ということで、保護者からの不安な声や反対意見も相次ぎ、一旦回答を持ち帰り、市長協議のうえ12月9日第2回説明会を行いました。

結果として、平成28年度については現状の事業を継続し、かねだ学童保育クラブを4月に開設するので、どちらかを選択していただくようにしております。

平成29年度からの対応については、学校への配慮や財政面を考慮し、子ども幸福課とともに保護者の方へ学童保育事業に理解と周知を図ってまいりたいと思います。

○教育部長（奥村昌美君）

ただいま生涯学習課長より情報提供がありましたが、各課より所管している事業の進捗状況について説明いたします。

○教育部長（奥村昌美君）

補足になりますが、現在の放課後子ども教室の1年間の予算が約1千万円であり、国等の補助が約100万円となっております。これが、学童保育館となりますと約600万円の補助金が交付されることになり、同じように子どもを預かる事業であれば財政面についてもたいへん優位となりますことをご承知おきいただきたいと思います。

今回の説明会においては、11月ごろの決定ということもあり、保護者の方の迎いの距離が長くなることや職場への対応などについて、ご批判をいただき現在の事業を継続することとなりました。

委員の皆様にも何かしら保護者の方からお話があるかと思いますが、そのような形ですので、詳細を知りたい場合は直接教育委員会へ相談していただくようお願いいたします。

○委員（日原悠子君）

学童保育館への送致についてはどうなりますか。

○教育部長（奥村昌美君）

あいのか福祉会がバスを運行し、小学校から学童保育館まで送る予定となっております。

○委員（深澤道昭君）

3小学校ともに事業を継続するというのでしょうか。

- 教育部長（奥村昌美君） 3小学校については、学童に行ってもいいですし、放課後子ども教室に行ってもいいということになっております。大きな違いとしては、放課後子ども教室は奥沢小を除いて、小学3年生までを対象としており、学童保育館はすべての小学生を預かることができる点が違っております。
- 教育総務課長（益子正幸君） 佐久山中学校及び親園中学校の統廃合進捗状況について説明。
佐久山中学校のPTA役員と懇談を実施し、今後、親園中学校のPTA役員についても懇談を実施します。地元の意見もよく聞きながら慎重に進めていきます。
西原小学校区の再編についても広報で周知したところでです。
- 文化振興課長（渡邊小百合君） 王将戦について説明。
- スポーツ振興課長（飯島進君） 第43回芭蕉の里マラソン大会について説明。
- 教育部長（奥村昌美君） 市長が、小学生の部活動への参加が最近低下しているのではないかと懸念しております。理由としては、部活動への送迎など保護者の負担が大きいので参加させないようにというようなことも言われております。
市長との協議の中で、保護者の負担を軽減し、来年度4月からまずは相撲とソフトボールについて、メンバーの揃わない学校などスポーツ少年団のように一同に集めまして活動できないかということで考えております。指導者については、NPO市体育協会から指導者を派遣していただき、大田原地区については宇田川のグリーンパーク、黒羽地区についてはくろばね運動公園で実施できないか検討しております。
- 教育長（植竹福二君） ほかにないようでありますので、以上をもちまして平成27年第13回大田原市教育委員会定例会の会議を閉会いたします。
ご苦労様でした。

閉会：午後2時30分

この会議録は、平成28年1月6日に調製されたものであるが、その内容に相違ないことを認め、ここに署名する。

平成28年2月16日

委員

委員

委員

委員

委員

調製者